

# ぶらっとサロン椿通信 令和4年5月号

今号の椿:百合絞り

R4.3.8 撮影



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。

**今号はサザンカについて** サザンカは日本を原産とし、ツバキとともに冬枯れの淋しい庭をいろどる数少ない花木の代表です。サザンカの自生種は、沖縄の西表島から九州とその周辺諸島および四国の西南部などに分布していますが、それらの自生種を素材として生みだされたさまざまな品種は、園芸文化の「冬の華」として各地に伝播し、いく度かの盛衰をくりかえしながら今日に受けつがれています。

国立歴史民俗博物館 ぐらしの植物苑 HP ほかより抜粋しました。(有楽齋)

→野生サザンカ



野生サザンカ(左図)は白い花を咲かせますが、園芸品種の花色には、白のほか、紅、桃、ほかしなど濃淡さまざまで、花形、大きさも多様です。これらの園芸品種は、開花の時期、花の形、樹性などの違いから大きく「サザンカ群」「カンツバキ群」「ハルサザンカ群」「タゴトノツキ群」という四つのグループに分けられています。

## サザンカ群

秋から冬にかけて、一重～二重の花を咲かせます。大輪花も多く、また、「江戸サザンカ」「肥後サザンカ」の代表的なものも、この品種群のなかまです。生態、形態的には、サザンカの自生種に近いグループで、樹形も自生種に近く、多くは立性です。



江戸サザンカ [三國紅]



肥後サザンカ [白楽天]



勘次郎 [立寒椿]



発心桜 [ほっしんざくら]

## カンツバキ群

中部地方に古木が多い「獅子頭」(関東地方では「寒椿」と呼ばれます)がもとになってつくられたもので、真冬に八重や獅子咲などの華やかな花を咲かせます。樹形は立ち上がりずに横張性のものが多く、枝葉が密生して、仕立てやすいものが多いようです。

## ハルサザンカ群

サザンカとヤブツバキの自然交雑により生まれたと考えられています。その名が示すように、開花の時期が遅く、初冬から春にかけて、一重や八重、千重咲まで、多様な花を咲かせます。樹形も、立性から横張性までさまざまです。



鎌倉絞 [かまくらしほり]



東牡丹 [あすまほたん]



ユチャ [油茶 桃花] (参考)



タゴトノツキ [田毎の月]

## タゴトノツキ群

中国原産の「油茶」の系統をひくものと考えられています。園芸品種は少なく、古くから知られているものは、「田毎の月」ただひとつです。